

戦後、日本の陶芸界に新風を巻き起こした前衛陶芸家集団「走泥社(そうでいしゃ)」。
鈴木治(1926-2001)、八木一夫(1918-1979)、山田光(1923-2001)ら京都の若手
陶芸家たちによって1948年に結成されました。従来の枠組や形式にとらわれない新
しい表現が模索されていた中で、“土”という素材に向き合い、それぞれ独自の創作
活動を展開しました。彼らの活動は海外でも注目され、その名が中国の「蚯蚓(きゅう
ういん・みみず)走泥紋」に由来することから、「世界を走るミミズ」とも称されました。

この展覧会では、当館が所蔵する鈴木治、山田光の他、走泥社を牽引した八木
一夫の作品をご紹介します。さらに、走泥社の活動と並行して取り組まれた、実用
性を持った器制作の一部をご覧ください。前衛的な活動が広く知られている彼
らですが、決してそれまでの伝統を否定した訳ではありません。“土”とどのように向
き合い、表現の可能性に挑み続けたのでしょうか。走泥社の結成から70年、解散か
ら20年となる2018年、三作家の多彩な創作活動の一端をご覧ください。



八木
一夫

鈴木治

山田光



表紙：鈴木治《数の土面》1963年 福島県立美術館
1. 八木一夫《頁1》1971年 岐阜県現代陶芸美術館
2. 八木一夫《曲》1964年 岐阜県現代陶芸美術館
3. 鈴木治《天馬横轉》1973年 岐阜県現代陶芸美術館
4. 鈴木治《掌上泥象三十八景》1987年 原型制作、2000年 焼成 福島県立美術館
5. 山田光《白釉食器一式》1959-69年(デザイン) 岐阜県現代陶芸美術館
6. 山田光《黒陶と金彩の窓》1981年 福島県立美術館

会期中イベント

創作プログラム「土とあそぼう！」

日時：10/6(土) 13:30～15:30

講師：安藤郁子氏(陶芸家、秋田公立美術大学准教授)

対象：小・中学生 10名

参加費：無料

申し込み締切：9/29(土)

創作プログラム「土に触れる ところに触れる」

日時：10/7(日) 10:00～12:00

講師：安藤郁子氏(陶芸家、秋田公立美術大学准教授)

対象：高校生以上 10名

参加費：材料費として500円

申し込み締切：9/29(土)

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9/22(土) 14:00～15:00ころ

※チケット購入の上、企画展示室入口にお集まりください。

ワークショップマート ～ものづくりの庭～

庭園を会場に、所蔵作品をテーマに

したワークショップを開催します。

日時：9/17(月・祝) 10:00～16:00

※事前申し込み不要



観覧料

一般・大学生 600(500)円
高校生 300(250)円
小・中学生 200(150)円

※()内は20名以上の団体料金

※企画展の観覧券で常設展もあわせてご覧いただけます

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展・常設展とも無料(それぞれ第1種または1級の場合は付き添いの方1名も無料)

交通案内(JR福島駅東口から)

電車＝福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス＝9番バス乗り場から福島交通バス・市内循環もりん2

コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分

タクシー＝JR福島駅東口、西口より約5分

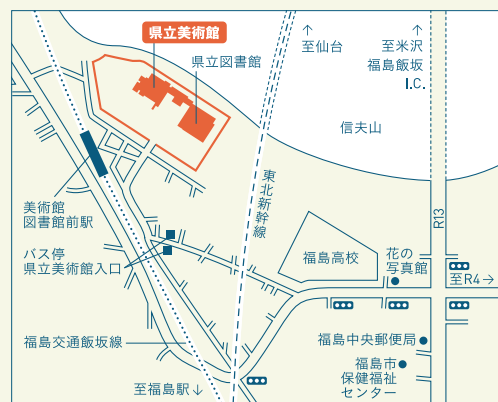
車＝東北自動車道「福島飯坂IC」より約15分、または「福島西IC」より約20分

次回企画展

生誕130年 佐藤玄々(朝山)展 10/27(土)～12/16(日)

福島県立美術館
Fukushima Prefectural Museum of Art

〒960-8003 福島市森合字西養山1
Tel: 024-531-5511 Fax: 024-531-0447
<https://art-museum.fcs.ed.jp>

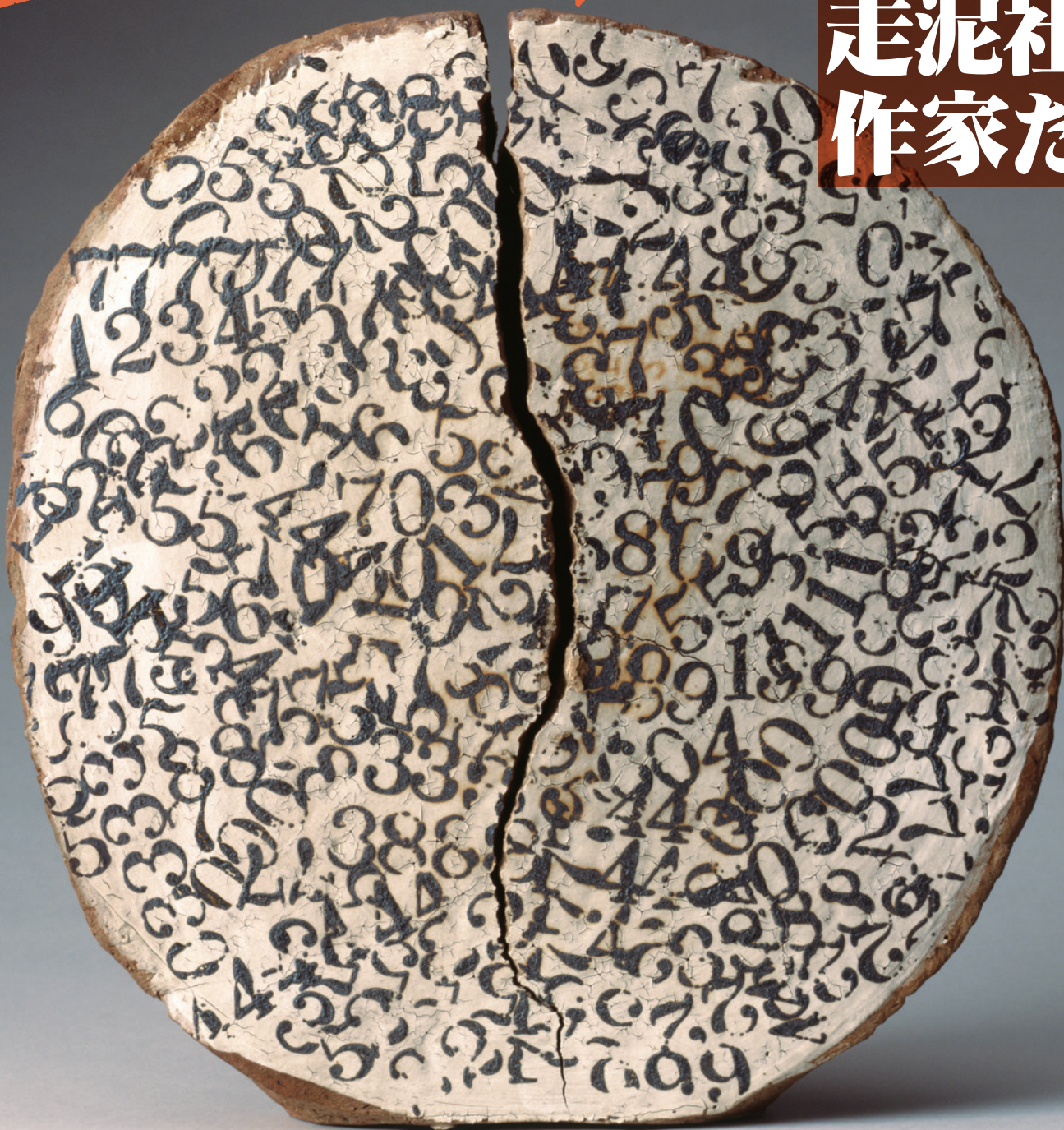


デザイン＝佐藤洋美(キャッサバ)

土におびむ

走泥社の
作家たち

彼等は、世界を走るミニズ。



2018/ 9/15 (土) - 10/14 (日)

開館時間 = 9:30~17:00 (最終入館は16:30まで)

休館日 = 9/18 (火)、25 (火)、10/1 (月)、9 (火)

会場 = 福島県立美術館 企画展示室

主

催 =



福島県立美術館

Fukushima Prefectural Museum of Art